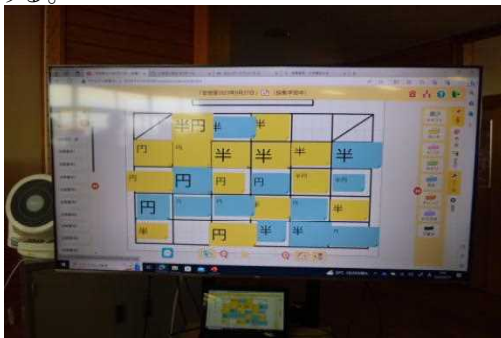
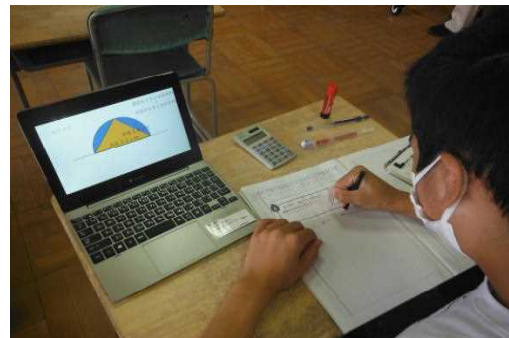


6年 算数科 「円の面積」

- 協働学習支援ツール上の座席表に貼り付けた付箋の色で子どもの自力解決の見通しを把握し、個に応じた支援をすることができた。
- プレゼンテーションソフトを用いてヒント動画を作成した。ヒントを見ることによって自力解決が困難な子どもも求積することができた。さらに、自力解決できた子どもが別の解法を求めて活用するなど、自分の力に合わせて主体的に学ぶ姿が見られた。
- 協働学習支援ツール上で図形の式を操作する場を設定したことで、試行錯誤しながら自分の考えを整理することができた。
- ◆全体の学び合いで図形と式を結びつけて考えを説明する際、大型提示装置と黒板の位置が離れていたため、図と式が対応していることを実感できなかった子どもがいた。ホワイトボードに式を書き、大型提示装置の近くで式と図形を結びつけて説明し、説明が終わったら黒板に貼るなどの手立てが必要であった。
- ◆適用問題では、約半数の子どもが図形の組み合わせを見つけ出すことができなかった。適用問題の時間を十分確保できるような授業展開と、学んだことを活用するための手立ての工夫が課題である。



【求積方法をかいた座席表】



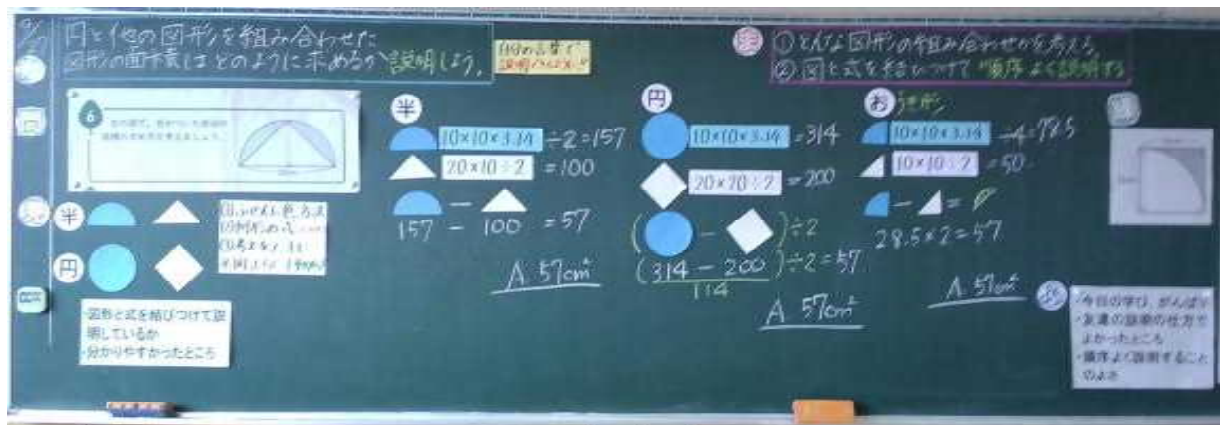
【ヒント動画を活用した自力解決】



【図の式を活用した学び合い】



【全体の学び合い】



【図と式を結びつけて考え方を比較できる板書】